

第40回関西バトントワーリングコンテスト

参加規定

(1) 参加に関する規定

一人の参加申し込みについては、種目数に制限はないが、同種目の部門は1部門のみとする。
(1種目につき入門・初級・中級・上級・最上級の内ひとつの級のみ出場できる)

(2) 演技順に関する規定

演技順は大会実行委員会にて抽選により決定する。
出場順が同じセット番号の場合のみ調整する。

(3) 審査に関する規定

①審査員数は次の通りとする。

- ・ 全国共通規定演技ソロトワール（入門、初級、中級、上級） 1名
- ・ ソロトワール（最上級） 1名
- ・ トゥーバトン・スリーバトン・ペア・ソロストラット・ダンストワール（入門、初級、中級） 1名
- ・ トゥーバトン・スリーバトン・ペア・ソロストラット・ダンストワール（上級） 2名
- ・ アーティスティックトワール・アーティスティックペア（上級） 3名

②成績は次の通りとする。

各賞の点数

【全国共通規定演技ソロトワール入門・初級・中級・上級】

金→バトンテクニックがAで、ボディテクニック・パフォーマンスにCがない場合

銅→バトンテクニックがC、又はバトンテクニックがBでボディテクニックとパフォーマンスがCの場合

銀→上記以外

【最上級ソロトワール・トゥーバトン・スリーバトン・ペア・ソロストラット・ダンストワール入門・初級・中級】

金→10.0～8.5 銀→8.0～7.0 銅→6.5以下

【上級（トゥーバトン・スリーバトン・ペア・ソロストラット・ダンストワール）】

金→20.0～16.5 銀→16.0～13.5 銅→13.0以下

【上級（アーティスティックトワール・アーティスティックペア）】

金→30.0～25.0 銀→24.5～20.5 銅→20.0以下

(4) 表彰に関する規定

一般団体には金・銀・銅のメダルを授与、全国共通規定演技のみ金・銀・銅の賞状も合わせて授与する。
学校団体には金・銀・銅の賞状を授与する。

(5) 上級種目のエーリアルに関する規定

- ・ 上級（トゥーバトン・スリーバトン・ペア・ソロストラット・ダンストワール）エーリアルに関する上限
2 スピン
シングルジムナスティック（イルリュージョン、前方転回、カートウィール、パタフライ）
※ダンスワーク、ダンスステップの組み合わせは可。
但しスピン・ジムナスティックとの組み合わせは不可。

ー0.5になるエーリアルの例

3 スピン

1 スピン+ジムナスティック

ダンスワーク（ダンスステップ）+ジムナスティック

ダブルジムナスティック

- ・上級アーティスティックトワール、アーティスティックペア エーリアルに関する上限
ダブルジムナスティック（イリュージョン、前方転回、カートウィール、バタフライ）

※スピンは上限を設けない。

※ダンスワーク、ダンスステップの組み合わせは可。

ー0. 5になるエーリアルの例

1 スピン+ダブルジムナスティック

ダンスワーク（ダンスステップ）+ダブルジムナスティック

トリプルジムナスティック

減点の対象はエーリアルに限る。

コンタクトマテリアル、ロールに関しての減点は無しとする。

※審査員が内容を確認し、これに該当する技を行なった場合は、1回でも2回以上でも0.5点の減点とする。

[審査基準]

※困難度の高いエーリアルが金賞ではなく、いかに正確に実施したかを審査基準とする。

※上級種目（T、3、SS、D、P）に関しては最上級ソロトワールのレベルに達していない場合は、金賞に値しない。

上級種目（AT、AP）に関しては最上級ソロトワール以上のレベルに達していない場合は、金賞に値しない。

過剰なレベルによるミスは減点の対象となる。

(6) コスチュームに関する規定

ソロトワール・トゥーバトン・スリーバトン・ペア・ソロストラット共通

自由（女子はパンツスタイル不可）

ダンストワール

自由（小道具・帽子着脱は不可）

アーティスティックトワール・アーティスティックペア共通

スポーツであることを前提に、コスチュームに関する規定は設けない。

(7) バトン、その他に関する規定（すべての種目共通）

- ①ボールとティップは新しいものを使用すること。
- ②バトンのシャフトはどのような色を使用しても良い。
- ③バトンのシャフトに貼るテープはどのような色を使用しても良い。ただしグリップテープはシャフトの長さの1/2までとし、センターから同等に巻くこと。
- ④グリップテープは隙間なく巻いても、ストライプ状でも渦巻状でもよい。
- ⑤テープやテープの類似品以外の、付属品等を使用することはできない。（視覚的補助及びハンドリング補助の為は可）
- ⑥複数人での参加種目ではグリップテープのカラーや巻き方は同一とすること。
- ⑦演技中の怪我のための包帯やサポーターは可。
- ⑧必要ならばメガネは可。サングラス・光りものによる顔の装飾、ピアス、アクセサリー類は全て禁止する。
- ⑨付け爪、マニキュア等、爪の装飾は全て禁止する。
- ⑩スポーツ競技であることを前提に、適度なメイクアップは良いが、装飾（顔に絵を描いたりすること）は禁止する。
- ⑪アナウンスについての規定
 - ①セット番号→②最後の選手名アナウンス後→③約2秒後に「ミュージック」→④約1秒後に音楽を再生する。